

ふじざくら



ぴゅあ総合



ぴゅあ峡南



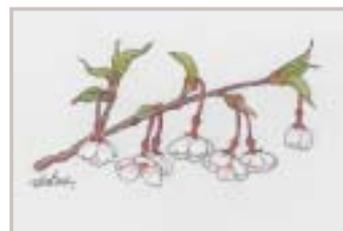
ぴゅあ富士

平成16年 3月

No. 45

CONTENTS

女性センターから男女共同参画推進センターへ.....	2
男女共同参画推進リーダーの活動.....	4
進む市町村の男女共同参画	5
市町村だより 石和町より	5
フォーラム、トップセミナー、海外研修	6
アドバイザー養成講座、ヤングリーダー会議.....	7
お知らせ	8



女性センターから 男女共同参画推進センターへ

男女を問わず、より多くの県民の皆様にご利用しやすい施設とするため、名称を「女性センター」から「男女共同参画推進センター」に変更し、男女共同参画社会の実現に向け、各種講座内容の充実を図りました。

男女共同参画推進センター（ぴゅあ総合、ぴゅあ峡南、ぴゅあ富士）の積極的なご利用をお待ちしております。

男女共同参画 推進センター までの歩み▶▶▶

S59年度 総合婦人会館開館
H 2年度 富士女性センター開館
H 8年度 峡南女性センター開館
H10年度 総合婦人会館を
総合女性センターに改称
H16年度 女性センターを
男女共同参画推進センターに改称

▶H16年度の開催講座

パートナーシップセミナー
地域づくりセミナー
エンパワーメントセミナー
市民企画講座
出前講座
フェスティバル

講座の紹介

1 パートナーシップセミナー（平成16年度から講座内容をリニューアル!）

■ 男女の人権の尊重、固定的な性別役割分担意識の是正、男女平等を推進する教育など、男女が共に学習し、男（ひと）と女（ひと）とのパートナーシップについて考えましょう。

単なるジェンダー論だけでなく、環境、社会的状況、制度のあり方など、面白く分かりやすく話してくださり、大変勉強になった。長い間形成された文化を変えていくことは大変ですが、根気よくこの運動を推進してほしいと思う。

▶（「男性学講座」参加者の声）

子育てに対して肩の力を抜いて取り組めそうです。楽しかったです。子どもを信じて子育てをしていこうと思います。

▶（「子育て応援講座」参加者の声）



2 地域づくりセミナー

■ 市町村の男女共同参画計画の策定・推進など、地域における男女共同参画社会づくりを支援します。

女性も一歩前に出ることが大事だと思いました。女性の人権も自分たちで確立していくべきものであり、自己啓発の必要性を感じました。

▶（「トップセミナー」参加者の声）



3 エンパワーメントセミナー

■ 男女が社会や地域や職場などで、積極的に活躍するための意識啓発や能力開発などを行います。

憲法草案に携わった人の考えや、日本の女性たちが戦前にどのような生活を送っていたのかなど聴くことができ、何より実になったと思います。

苦勞して女性の権利が憲法に入れられたことを私たちのような若い世代はしっかりと受け止め、この権利を大切に守っていきたいと思いました。

▶（「社会参画講座」参加者の声）



4 市民企画講座

- セミナーの企画・運営をしてみたいという団体（グループ）は、ぜひ、この講座をご利用ください。

楽しく参加できました。娘からぜひ参加したいということで「とりあえず」の気持ちで来ましたが、終わった後の充実感から、今後、子どもと私との関係もきっといい方向に向かうと思いました。

▶（「父と子の料理教室」参加者の声）



5 出前講座

- セミナーの開催を要望する市町村、団体、企業、学校、自治会などに出向きます。

子ども3人を育てながらの忙しい毎日ですが、学習会に参加して改めて命の大切さ、子どもの大切さを見直せました。

▶（「いのちの学習」参加者の声）

明るく元気な職場づくりのためにも、朝礼や職場会議で、セクシュアル・ハラスメントをテーマにした全社員研修を実施したい。

▶（「職場における男女の人権について」参加者の声）



6 フェスティバル

- センターの情報発信や各種団体などによる発表・交流の機会を提供しています。

記念講演、とても感動的でした。私と同じ年代の講師の話、とても感動しました。夫と子どもに伝えることの大切さ、これからでも遅くないと思いました。

一つひとつの企画に気持ちが込められ、多くのことを考えさせられ、学ぶことができました。

▶（「フェスティバル」参加者の声）



本、ビデオ、カセットテープ 貸し出しています

男女共同参画推進センターでは、本、カセットテープ、ビデオテープを貸出しています。詳しくは山梨県男女共同参画課ホームページをご覧ください。

▶ 蔵書数 3,854冊、カセットテープ 1,339本、ビデオテープ 850本



女性総合相談を行っています

ぴゅあ総合では女性総合相談窓口を開設し、専任の相談員2人が、女性に関する様々な相談に応じています。

▶ 相談日時 毎週火曜日から日曜日 電話相談 午前9時から午後5時まで
面接相談 午前9時から午後4時まで

▶ 電話番号 055 - 237 - 7830



ぴゅあ 総合

〒400 - 0862
甲府市朝気1 - 2 - 2
Tel 055 - 235 - 4171
Fax 055 - 235 - 1077

ぴゅあ 峡南

〒409 - 2305
南巨摩郡南部町内船9353-2
Tel 0556 - 64 - 4777
Fax 0556 - 64 - 4700

ぴゅあ 富士

〒402 - 0052
都留市中央3 - 9 - 3
Tel 0554 - 45 - 1666
Fax 0554 - 45 - 1663

男女共同参画推進リーダーの活動より

「三珠町えがりての会」

山梨県男女共同参画推進リーダー（三珠町） 保坂衣子

三珠町では、町民アンケートを土台に平成14年7月「歌舞伎の里のいきいきプラン」ができあがり、町の各家庭に配布されました。プラン策定委員から推進リーダーに委嘱され、戸惑いの中、多くの講演会や学習会、また男女共同参画アドバイザー養成講座に参加し、自分の置かれた位置や成すべきことに理解を深めることができました。

地域に受け入れやすい推進をしたいという思いで二つの計画を立てました。一つは夏休みを利用して中学生、高校生を対象に「歌舞伎の里のいきいきプラン」の中身をテーマにした作文を募集し、優秀作品を町のふるさと祭りで表彰しようということ。もう一つは、やはり祭りの日に会話劇をしようということでした。シナリオは、ごくありふれた家庭の話から、朝は介護問題、昼は地域の役員選出、夜は子どもの進路問題を取り上げ、聞く側に問題提起した形の三幕にして、私がなんとか書きました。顔絵は、委員の中で手慣れた方に下絵を描いてもらい、皆で色を塗りをしました。練習するうちにそれぞれが楽しい会になって来たようでした。地域に分かりやすい言葉を考え、推進委員会を「三珠えがりての会」にしようと提案しました。「えがりてって何？」と言葉の意味を聞かれることを予測してのことでした。背中に「えがりて」と書いた同じユニホームを身につけて発表したところ、予測通りの質問があり、「男女平等の平等です」と伝えることが出来ました。作文の応募は少なく、教育の現場に踏み込むことの難しさを感じながらも、ぴゅあ峡フェスティバルや峡南老人クラブ連合会での発表を重ねるうちに、会のメンバー自身も気づくことが多く勉強になったと思います。

人と人とを認め合い、尊重し合い、暖かい家庭・地域づくりの一端を担う仲間づくりが出来たことは、私にとって幸せなことでした。これからも、学習しながら地域に溶けこめる推進をしたいと思っております。



女性模擬議会を実施して

山梨県男女共同参画推進リーダー（高根町） 跡部久代

平成14年10月「高根町男女がともに歩む豊かなまちづくり条例」が制定されました。平成7年の取組から今日まで、様々な学習と体験を積み重ね、プラン策定から条例制定へとこぎつけました。特に情報紙「飛鳥」は、町民の男女共同参画への理解に役立ったと思います。

平成15年3月に新プラン「たかね男女共同参画プラン」が策定され、平成15年度の活動計画の中で女性の町政への参画意識を高めるとともに、女性の視点からの意見を町政に活かしてもらおうと女性模擬議会の開催が決まりました。

農閑期を利用して、私ども推進リーダーが所属する高根町男女がともに歩む豊かなまちづくり推進委員会と多くの会員を抱えている女性団体連絡協議会との合同で、より多くの人集めをしようと意見の一致をみました。幸い、両会の窓口が町企画財政課でしたので、両者の話し合いや合同会議もスムーズに行きました。

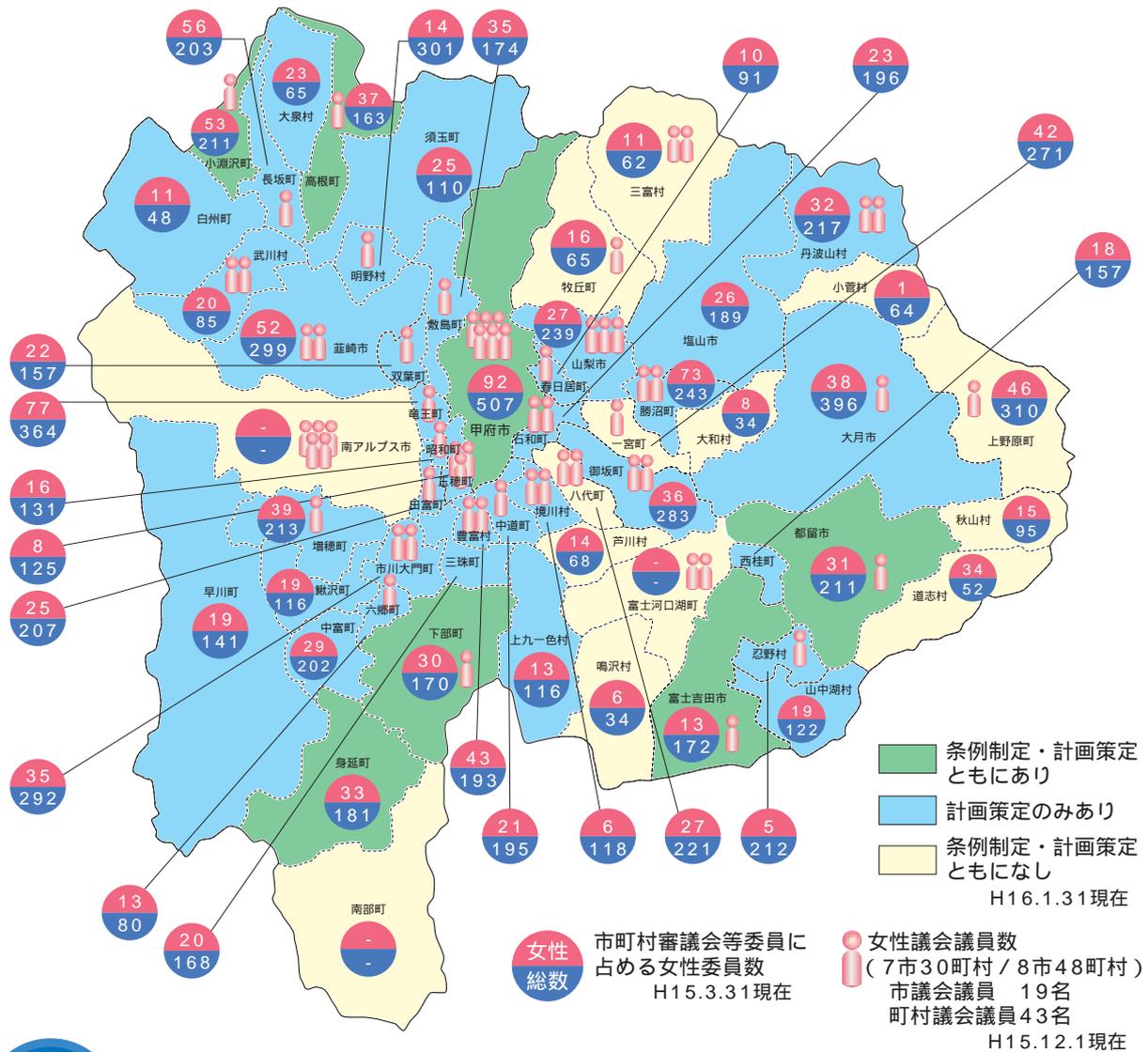
模擬議員は、2回の勉強会を開き本番に備えました。期日は11月29日、議員は、一般公募6名を含む25名、当日の質問者は5名、一人の持ち時間は質問と答弁を含めて10分でした。

当日は、町長をはじめ、町議員、町全課長、100人以上の傍聴者の参加で盛会でした。模擬議員の質問も議場に響き、なんの失敗もなく女性のパワーを十分に発揮して成功のうちに終わりました。なによりも傍聴者を2班に分けるほど人集め出来たことは最高でした。

この模様は、後日、町のCATVから町内に放映され好評でした。現実には、女性議員は1名ですが、これを機に男女共同参画社会実現のため、意識改革と活躍の場を広げて欲しいものです。



進む市町村の男女共同参画



市町村だより

石和町で男女共同参画宣言都市記念式典が開催されました

平成16年2月1日A石和町スコレーセンターで、男女共同参画宣言都市記念式典が開催されました。山梨県内の宣言都市は、櫛形町（現南アルプス市平成11年）・都留市（平成12年）に次いで3番目となりました。

男女共同参画都市いさわ宣言

ひとひと
 男と女とが共に手を取りあい
 認め合い・支えあい・共にかがやき
 共に参画し・共に責任を分かち合う
 心豊かな「いさわ」をめざします。

水と緑あふれるスコレー都市石和は
 ここに「男女共同参画都市」を宣言します。

平成15年9月
 石和町

男女共同参画宣言都市とは

男女共同参画社会の実現には、国における取組に加えて、生活に身近な地域社会から男女共同参画を進める必要があります。

地域を挙げて男女共同参画社会づくりに取り組む「男女共同参画宣言都市」は、国の男女共同参画推進本部、内閣府、開催市町村の共催で開催されています。



男女共同参画推進県民フォーラム開催しました

平成15年6月13日f 山梨県立文学館講堂で、男女共同参画意識の高揚のため、男女共同参画推進県民フォーラムを山梨県及び男女共同参画推進県民フォーラム実行委員会の共催で開催しました。

このフォーラムで、山梨県男女共同参画推進県民表彰を行い、山梨市で母子相談員として、ひとり親家庭への支援や市のプラン策定に尽力した高保房乃氏、退職後、生涯学習の活動による仲間と女性劇団を組織し、寸劇などをとおして男女共同参画推進への積極的な提案などを行い、町の女性議員としても活躍している六郷町の上田みさを氏、女性いきいきアドバイザー、推進リーダーとして地域の声を行政につなげ、町の男女共同参画計画の原案を中心になって取りまとめた昭和町の五味昭子氏の3名の方が表彰されました。

また、「真の地方自治実現は男女共同参画で」と題して、十文字学園女子大学社会情報学部教授橋本ヒロ子氏による講演を行い、最後に地域で活躍している方々によるシンポジウムを開催し、盛大の内に終了しました。



男女共同参画推進のための「トップセミナー」開催しました

県内の市町村長や企業経営者等の指導的立場にある方々に、男女共同参画に対する理解を深めていただき、それぞれの立場で具体的な取り組みを期待するため、平成15年9月9日c トップセミナーを開催しました。

「女性の活躍で組織が変わる！」と題し、山梨県出身で㈱資生堂相談役 弦間明氏による講演を行い、「男女共同参画推進のための取り組み」についてシンポジウムを開催しました。下部町長 土橋金六氏、山梨県トラック協会会長 中村昌訓氏がシンポジストとなり、山梨県立女子短期大学教授 阿部真美子氏がコーディネーターとなりました。

参加者からは、講師やシンポジストの男女共同参画意識の高さに驚かされたとの感想もありました。



平成15年度 やまなし女性リーダー養成海外研修行ってきました

今年度の海外研修は、平成15年11月30日a から12月7日a までの8日間にわたり実施されました。大澤祥子さんを団長に、メンバー15名がオーストラリアのメルボルン、シドニーの女性団体や子育て関係施設などを訪問し、団体の活動や問題の取組などについて話を伺いました。

女性の社会進出が進んでいる国と言われているとおり、どこの訪問先も女性がいきいきと活躍していましたが、日本の女性と同じ悩みを抱えていることも知ることができました。

この海外研修で得た成果を活かし、メンバーそれぞれが地域に還元していきたいと思えます。

海外研修の詳細は、報告書にとりまとめます。市町村、情報プラザ、男女共同参画推進センターなどで、どなたでも閲覧できます。(事務局)

▶ 海外研修メンバー

団長 大澤 祥子(甲府市)	
雨宮千代子(境川村)	梶原美千子(大月市)
上名をさみ(忍野村)	岸本 敏子(田富町)
木村 淳子(甲府市)	高野 悦子(敷島町)
詫間 妙子(甲府市)	都築 香(六郷町)
鶴田 良子(竜王町)	中島きよ子(山梨市)
中山 博子(竜王町)	宮谷美代子(富士吉田市)
渡辺 聖香(南アルプス市)	芦澤 千恵(研修生)
	望月 美香(事務局)



2003男女共同参画アドバイザー養成講座受講生研究成果

男女共同参画アドバイザー養成講座とは

男女平等をめぐる意識改革のための教育・学習の充実を図り、職場や地域における活動に男女が共同して参画していけるよう、専門的な指導者（男女共同参画アドバイザー）を養成する講座です。

平成15年度は、4つの研究テーマで発表がありました。～報告内容のまとめより～

1 ジェンダーの視点から見た広報

～県内市町村の広報誌 イラスト中心+ことば “ちょっと変？”～

「視覚から入る情報が一番受け取りやすいからこそ、誰もが目にし、私たちの生活に一番身近な広報から気を付けなければならないし、変えていくことで私たちの今まで培ってきたジェンダーな意識の改革につながると思います。市町村の広報編集担当者が、男女共同参画社会を意識して、イラスト・写真を含め、編集して下さることをお願いしたい。」

2 私の家族 パフォーマンス・ワークショップ

～わたしの人生は だれのもの？～

「家族は、生活を共にしていく仲間としてお互いに意識し、支え合いながら生きていくものかと思っています。それには、誰かが誰かの犠牲になるのではなく、一人ひとりが対等に、尊重される存在としてお互いを認め合わなければなりません。社会の一番小さな単位としての家族のあり方が問われてこそ、人々は豊かで幸せな未来を夢見ることができるはずです。わたしの人生は、わたしのもの。」

3 男女共同参画推進条例の比較検討

～条例は作ることが目的ではない 住民参加で作りあげる制定過程が大切である～

「自治体条例において、特に男女共同参画条例は、行政主導で制定されたものと、住民の声を聞きながら制定されたものとは、制定後の推進状況の取り組みが違ってくると思われる。」

4 男女共同参画に関する実態調査

～自治体担当職員に聞く～

「今後、各自治体での推進体制の在り方を考えると、まずは首長の姿勢が第一であり、担当者の意識、庁舎内の理解と実践が望まれる。そのため、担当者住民（特に推進委員）が共に同じ場で学び、様々な場で情報交換をして、それぞれの持つ知恵と力を結集した協働によるきめ細かい推進活動が必要である。」

内閣府主催 「男女共同参画ヤングリーダー会議」に参加して

近い将来、地域のリーダーとして活躍が期待される男女が、平成15年10月23日E～24日F 東京ウィメンズプラザに集い、男女共同参画に関する情報交換などが行われました。

山梨県では、富士吉田市の杉本充江さんが参加しました。

富士吉田市 杉本 充江

全体に総論的で具体的活動例が少なかったが、当地域においての「富士山自遊大学」や地域在住外国人との交流が、女性の社会での活躍の場となっていることに高い評価をして下さる方もおり、市民として誇りを感じている。

「男女共同参画」の持つ意味が、「すべての男女が共同に参画しましょう」という意味に感じてしまう点に問題があり、専業主婦の立場を批判しているようにも捉えられる表現であるとの指摘もあった。住民が正しく理解したうえで推進していく必要があるだろう。

日本の社会において、ジェンダーに敏感な視点が浸透するためには、まず女性が、女性としてのハンディーや立場の弱さ、被害者意識を捨てて輝くことだと感じた。

班別会議の参加者の報告の中での「どうして、女性がしなくちゃいけないの？」「男性も協力すべきだ」とかいう「負」の意見に、魅力を感じないのは私だけだろうか。そうではなく、「私は、こんなことをしながらもがんばっているのよ」というような、あくまでも前向きな意見に共感を覚える。

また、海外の男女共同参画の状況や、男女平等の思想などを引き合いに出す人がいるが、文化の違いをどのように認識しているのだろうか。日本には日本の文化があり、その中で男女のあり方を模索する以外に方法はないと思うのだが…。同一民族意識が生み出した、異文化への知識不足の表れだろうか。男と女という異文化への理解の促進は、ひょとすると、日本全体の国際社会、多文化共生社会の構築の担い手となるかもしれない。

お 知 ら せ

男女共同参画推進事業者等表彰

男女共同参画を推進する活動に積極的に取り組んでいる県民、事業者などを表彰します。

対象となるのは、県内に在住または所在し、男女共同参画への取組が他の規範であると認められる県民、事業者などです。

審査の結果、6月に開催する「男女共同参画推進県民フォーラム」において表彰します。

表彰の種類

- | | | |
|---|-------|-----|
| 1 | 県民表彰 | 若干名 |
| 2 | 事業者表彰 | 若干名 |
| 3 | 団体等表彰 | 若干名 |

平成16年度やまなし女性リーダー養成海外研修を実施します

国際的視野と指導力を持った地域リーダー養成のため、女性の社会参画が進んでいる国で、男女共同参画に関する調査研究を行います。

研修先：ニュージーランド（予定）

実施時期：平成16年11月・8日間（予定）

募集人数：女性15人

5月頃募集を行う予定です。

平成15年度男女共同参画年次報告書発行のお知らせ

男女共同参画の推進の状況及び男女共同参画の推進に関する施策の実施の状況を取りまとめ、冊子にしました。

情報プラザ、男女共同参画推進センターなどでも閲覧できます。

「ぴゅあ総合、ぴゅあ峡南、ぴゅあ富士」は、施設の愛称です。「ぴゅあ」は、男女共同参画社会をめざして、新鮮な感覚でいきいきはつらつと行動する拠点という意味を込めてつけられました。

表紙絵 ▶ ボタニカルアート「ふじざくら」
作者 遠山若枝さん

DVカード設置場所の募集

夫やパートナーからの暴力の相談機関を広く被害者に理解してもらうため、相談機関がひと

目で分かる「パートナーからの暴力に悩んでいませんか」啓発カード（名刺サイズ）を作成しました。

このカードを置いていただける事業所などを募集します。多くの事業所のご協力をお待ちしております。



詳細については、男女共同参画課までお問い合わせください。

企画 / 発行 山梨県企画部県民室男女共同参画課

〒400-8501 甲府市丸の内1-6-1 Tel055-223-1358

E-mail : danjo@pref.yamanashi.lg.jp

URL <http://www.pref.yamanashi.jp/kikaku/danjo/sankaku>

山梨県男女共同参画課のホームページで山梨県男女共同参画計画の内容や男女共同参画社会に関する情報をご覧いただけます。